

日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGG 分科会（第 25 期・第 3 回）議事要旨

1 日時 令和 4(2022) 年 12 月 5 日（月） 15:30~17:10

2 方法 遠隔会議（Zoom）

3 出席者

（会員）小池俊雄、佐竹健治、中村卓司

（連携会員）東久美子、久家慶子、中田節也、中村尚、日比谷紀之、古屋正人

（特任連携会員）辻村真貴

4 議事

前回議事録（資料 1）を確認した。

（1）IUGG 分科会の活動について（資料 2）

資料 2 にそって、東分科会長から IUGG 分科会の活動報告があった。

本分科会から IUGG Early Career Scientist Awards に推薦した仲田氏の受賞が決定した。IUGG Fellow の推薦 1 件は、現在、選考中である。IUGG Yearbook 2023 の更新情報を IUGG に提出した。2022 年 7 月に本 IUGG 分科会の報告を日本学術会議に提出した。また、第三部会、地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会で本分科会の報告を行った。年末にも、地球惑星科学委員会と地球惑星科学国際連携分科会での報告を予定する。2023 年 IUGG 総会への代表者派遣には、日本学術会議からの証明書を発行するため、各小委員会からの日本代表を東分科会長まで知らせるように指示があった。あわせて、日本学術会議の令和 5 年度代表派遣会議に関連して、小委員会の優先順位、派遣希望のある小委員会の確認を行った。派遣を希望する小委員会は、申請書を東分科会長へ提出するように指示があった。IUGG National Committee Report に関して、これまでの経緯を確認し、今回も本 IUGG 分科会からは提出しないことを合意した。

（2）IUGG 分科会の各小委員会の活動報告(資料 3)

IACS、IAG、IAGA、IAHS、IAMAS、IAPSO、IASPEI、IAVCEI の順に、資料 3 に基づき、各小委員会の活動報告があった。IAG 小委員会から、IUGG National Committee Report を前回は提出したが、今回は提出しない決定をしたことが報告された。IAVCEI 小委員会から、日本の論文引用をすすめる呼びかけをしていること、査読者になった場合には、日本の論文を紹介・引用するように勧めていることが紹介され、関連して意見交換が行われた。オリジナル論文が引用されなくなっているという問題点も指摘された。

（3）IUGG の動向

第 2 回 IUGG 分科会以降、IUGG Executive Committee は開催されていないとの報告が

佐竹委員からあった。2023年のIUGG総会が大きなイベントで、IUGG2023ホームページに、予稿提出などの各種締切、シンポジウムや講演などの情報があることが紹介された。IUGG Electronic Journal最新号から、最近のIUGGの動向も紹介された。IUGG総会ではIUGG役員選挙が予定されており、事前に本分科会で議論しておく必要性あることが確認された。

(4) 学術会議の動向

佐竹委員から、総会が10月から12月に延期になったことが報告された。

中村(卓)委員から、「未来の学術振興構想」の策定がすすめられており、「学術の中長期研究戦略」の公募が12月16日受付締切で行われていることが報告された。また、第26期会員・連携会員の推薦は、現時点では、学協会からの情報提供と会員・連携会員からの推薦で行われ、いずれも1月の予定であることが紹介された。分野、地域、性別、若手や産業界からの起用などの考慮が求められる。佐竹委員から、今期で退任となる地球惑星科学関連の会員に関する情報も提供された。

小池委員から、国際委員会において、期をまたいで委員会の連続性をいかに保てるかについて議論を行っていることが報告された。また、広島でのG7に伴って開催されるG Science(3月7、8日東京)で、日本が声明の取りまとめを担当し、健康、海洋生物、気候リスクをテーマに準備していることが報告された。さらに、日本学術会議主催で年1回行う国際会議(持続会議)として、関東大震災100年にちなんだ国際会議の開催を準備していることが報告された。関東大震災100年に関する2023年のさまざまな企画や催しを内閣府で連携させて進めることになり、防災学術連携体の協力でロゴを作成したことも紹介された。

(5) IYBSSDの動向

佐竹委員より、日本学術会議ホームページをもとに、IYBSSDに関する報告があった。協賛イベントのリストは同ホームページで閲覧でき、地球惑星科学関連の最近の活動として、佐藤薫氏と関根康人氏が講演された11月5日のサイエンスアゴラが紹介された。

(6) カーボンニュートラルに関する連絡会議の動向

中村(尚)委員から、カーボンニュートラルに関する連絡会議の最近の活動について、日本学術会議ホームページで、連絡会議議事録や関連シンポジウムの情報などが閲覧できることが紹介された。

5 配布資料

資料1：第25期第2回IUGG分科会の議事録要旨

資料2：IUGG分科会の活動について

資料3：IUGG分科会の小委員会の開催報告